

2 施策の方向

項目	施策の方向
周産期医療従事者の確保	○医療機関での産科・婦人科医師等の処遇改善や研修、医師の働き方改革を進めるための取組に対する支援や、総合周産期母子医療センターの機能強化等に関係機関と連携して計画的に取り組むことにより、地域の周産期医療を担う人材の確保・育成に努めます。
周産期医療体制の確保	<p>◎医師の働き方改革に対応しつつ、オープンシステム・セミオープンシステム、院内助産の活用や非分娩取扱施設の役割の明確化等、周産期医療機関が緊密に連携し、それぞれの人材や機能を最大限生かし、機能分担しながら、地域全体で周産期医療を支える持続的な周産期医療提供体制の構築を目指します。</p> <p>○連絡会議等の開催を通じ、ハイリスクな母体・新生児を安全かつ迅速に搬送するための、周産期医療機関及び消防機関の連携強化や情報共有の円滑化を図ります。</p> <p>○周産期母子医療センターを中心として、精神疾患を含めた合併症妊娠や胎児・新生児異常等の母体又は児のリスクが高い妊娠に対応する体制の充実を図ります。</p> <p>○周産期死亡例の検証や研修会の開催等を通じ、分娩取扱施設での質の高い医療の提供、周産期死亡率等の低減を図るとともに、妊産婦のメンタルヘルスケアへの対応や分娩時の家族の立会い、面会の方針等に関する事前の情報提供など、安心して出産できる環境づくりを進めます。</p> <p>○災害時や新興感染症の発生・まん延時においても、必要な周産期医療が提供できるよう、産科的緊急処置が必要な妊産婦の受入れ医療機関を含め、周産期医療機関相互の役割分担や消防機関等との情報共有の方法等についてあらかじめ協議しておくとともに、研修等を通じ、災害時小児周産期リエゾンを養成します。</p> <p>○岡山県周産期医療協議会を中心に、小児医療関係者に加え、市町村を含めた母子保健・福祉等の関係者と連携しながら、社会的ハイリスク妊産婦や産後ケア等、諸課題への対応策を検討し、母子に対する切れ目のない支援を提供する体制の整備に向け、協働して取り組みます。</p>

3 数値目標

項目	現状	令和11年度末目標(2029)
周産期死亡率(出産千対)	3.5 (全国30位) R4年 (2022)	低下 (全国1位)
出産千人当たりの産科・産婦人科医師数	14.0人 R2年 (2020)	現状維持または増加

【周産期医療】

【ストラクチャー指標】 ※医療サービスを提供する物質資源、人的資源及び組織体制を測る指標

区分	指標名	調査年	調査名等	現状		備考
				全国	岡山県	
低リスク分娩・地域周産期母子医療センター・総合周産期母子医療センター	産科医及び産婦人科医の数 (人口10万対、 出産千対)	R2年 (2020) (2年毎)	医師・歯科医師・ 薬剤師調査	11,678人	174人	産科医数＋ 産婦人科医数
				9.3人	9.2人	
				14.6人	14.0人	
	分娩取扱施設に勤務する産科医及び産婦人科医の数 (「分娩の取扱有り」の担当医師数 (常勤換算))	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	2,175.9人 (8.7人)	32.3人 (9.2人)	(15～49歳 女性人口10 万人あたり)
				6,756.5人 (27.0人)	105.9人 (30.2人)	(15～49歳 女性人口10 万人あたり)
	助産師数	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	6,262.8人 (25.1人)	100.5人 (28.7人)	(15～49歳 女性人口10 万人あたり)
				18,821.1人 (75.3人)	302.6人 (86.3人)	(15～49歳 女性人口10 万人あたり)
				R4年度 (2022) (2年毎)	衛生行政報告例	38,063人 (157.8人)
	分娩を取扱う産科又は産婦人科病院数	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	963施設 (3.9施設)	17施設 (4.8施設)	(15～49歳 女性人口10 万人あたり)
	分娩を取扱う産科又は産婦人科診療所数	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	1,107施設 (4.4施設)	17施設 (4.8施設)	(15～49歳 女性人口10 万人あたり)
地域周産期母子医療センター・総合周産期母子医療センター	NICUを有する 病院数・病床数 (人口10万人対、 出生千対)	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	352施設 (0.3施設)	7施設 (0.4施設)	
				352施設 (0.4施設)	7施設 (0.5施設)	
				3,394床 (2.7床)	72床 (3.8床)	
				3,394床 (4.0床)	72床 (5.3床)	
	GCUを有する病 院・病床数 (人口10万対、 出生千対)	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	299施設 (0.2施設)	4施設 (0.2施設)	
				299施設 (0.4施設)	4施設 (0.3施設)	
				4,090床 (3.2床)	74床 (3.9床)	
				4,090床 (4.9床)	74床 (5.5床)	
	MFICUを有す る病院・病床数 (人口10万対、 出生千対)	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	131施設 (0.1施設)	2施設 (0.1施設)	
				131施設 (0.2施設)	2施設 (0.1施設)	
				867床 (0.7床)	12床 (0.6床)	
				867床 (1.0床)	12床 (0.9床)	
	ハイリスク分娩管理 加算届出医療機関数	R4.3.31 (2022) (毎年)	診療報酬施設 基準	750施設 (3.0施設)	10施設 (3.0施設)	(15～49歳 女性人口10 万人あたり)
	院内助産を行っている 周産期母子医療センター数	R4.3.31 (2022) (毎年)	周産期医療 体制調査	134施設	0施設	

区分	指標名	調査年	調査名等	現状		備考
				全国	岡山県	
地域周産期母子医療センター・総合周産期母子医療センター	助産師外来を行っている周産期母子医療センター数	R4.3.31 (2022) (毎年)	周産期医療体制調査	289施設	3施設	
	NICU入院時の退院支援を専任で行う者を配置している周産期母子医療センター数	R4.3.31 (2022) (毎年)	周産期医療体制調査	200施設	3施設	
地域支援	岡山県周産期医療協議会の開催回数	R4年 (2022) (毎年)	県独自報告	－	2回	
	産後ケア事業を実施する市町村数	R4年 (2022) (毎年)	県独自調査	－	26市町村	
療養・療育支援	身体障害者手帳交付数 (18歳未満)	R3年度 (2021) (毎年)	福祉行政報告例	94,051人	1,094人	
災害対応等	災害時小児周産期リエゾン任命者数	R4年 (2022) (毎年)	都道府県調査	804名	24名	

【プロセス指標】 ※実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標

区分	指標名	調査年	調査名等	現状		備考	
				全国	岡山県		
低リスク分娩・地域周産期母子医療センター・総合周産期母子医療センター	出生率（人口千対）	R4年 (2022) (毎年)	人口動態調査	6.3	6.8		
	合計特殊出生率	R4年 (2022) (毎年)	人口動態調査	1.26	1.39		
	低出生体重児出生率	R4年 (2022) (毎年)	人口動態調査	9.4	8.9		
	分娩数 (帝王切開件数を含む)	一般診療所 R2年 (2020) (3年毎) 病院	医療施設調査	31,847件 (127.4件) 38,086件 (152.4件)	457件 (130.4件) 604件 (172.3件)	(15～49歳女性人口10万人あたり) (15～49歳女性人口10万人あたり)	
低リスク分娩	産後訪問指導を受けた割合 (出生千対)	新生児 (未熟児を除く)	R3年度 (2021) (毎年)	地域保健・健康増進事業報告	228.8	95.8	
		未熟児			49.9	43.4	
地域周産期母子医療センター・総合周産期母子医療センター	NICU入室児数 (人口10万対、 出生千対)	人口10万対	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	72,530人	1,382人	
		出生千対			57.5	73.1	
					86.3	102.2	
	妊産婦の居住する市町村の母子保健事業について、妊産婦に個別に情報提供を行っている周産期母子医療センター数	R4.3.31 (2022) (毎年)	周産期医療体制調査	323施設	6施設		
	母体・新生児搬送数	R4年版 (2022) (毎年)	令和3年中の救急搬送における医療機関の受入状況等 実態調査 周産期医療体制調	37,349 (148.8)	483 (140.7)	(15～49歳女性人口10万人あたり)	
	母体・新生児都道府県内搬送率			354.1	5.8		
療養・療育支援	退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	医療機関に受入照会を行った回数が4回以上	R4年版 (2022) (毎年)	令和3年中の救急搬送における医療機関の受入状況等 実態調査 周産期医療体制調	572 (2.3)	5 (1.5)	(15～49歳女性人口10万人あたり)
		現場滞在時間が30分以上の件数	R4年版 (2022) (毎年)		1,366 (5.4)	5 (1.5)	(15～49歳女性人口10万人あたり)
療養・療育支援	退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	R3年度 (2021) (毎年)	ナショナルデータベース	15,809	171		

【周産期医療】

【アウトカム指標】 ※医療サービスの結果としての住民の健康状態を測る指標

区分	指標名	調査年	調査名等	現状		備考
				全国	岡山県	
低リスク分娩・ 地域周産期 母子医療センター・ 総合周産期 母子医療センター	新生児死亡率	R4年(2022)(毎年)	人口動態調査	0.8	0.6	(出生千対)
	周産期死亡率	R4年(2022)(毎年)	人口動態調査	3.3	3.5	(出産千対)
	妊産婦死亡率	R4年(2022)(毎年)	人口動態調査	4.2	0.0	(出産10万対)
	死産率	R4年(2022)(毎年)	人口動態調査	19.3	19.0	(出産千対)
療養・療育支援	乳児死亡率	R4年(2022)(毎年)	人口動態調査	1.8	1.3	(出生千対)
	乳幼児死亡率	R4年(2022)(毎年)	人口動態調査	0.4	0.4	(5歳未満人口千対)
	NICU・GCU 長期入院児数	R3年(2021)(毎年)	周産期医療 体制調査	307 (1.2)	0 (0.0)	(15～49歳女性 人口10万人あたり)